

平成30年度 通所介護・訪問介護ネットワークなは合同会員研修会 『認知症のさまざまな症状について ～医学的・心理的な理解とケア・対応～』

○日 時：平成30年10月25日（木） 14時00分～16時00分

○場 所：那覇市医師会・4階ホール

○参加者：56名

（医師1名、訪問介護ネットワークなは39名、通所介護ネットワークなは15名、その他1名）

●テーマ：『認知症のさまざまな症状について ～医学的・心理的な理解とケア・対応～』

講 師：城間クリニック 院長 城間 清剛 先生



講 師：城間 清剛 氏



認知症のさまざまな症状についての講演風景

※ 参加者アンケートの集計結果は別紙をご参照ください。



司 会：金城 宏和 氏



開会挨拶：宮良 美幸 氏



閉会挨拶：宮國 隆哉 氏



平成30年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業
医療職から介護職への研修会

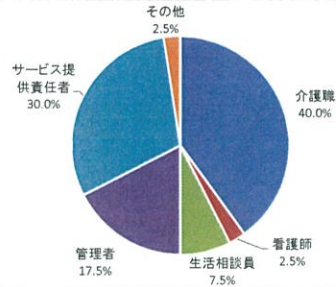
平成30年度 通所介護・訪問介護ネットワークなは合同会員研修会アンケート集計結果

日時:平成30年10月25日(木) 14時00分～16時00分
場所:那覇市医師会・4階ホール

参加者:56名
回答者:37名
回収率:66%

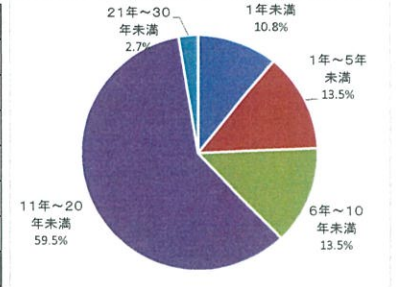
アンケート回答者の職種

職種	人数	割合
介護職	16	40.0%
看護師	1	2.5%
生活相談員	3	7.5%
管理者	7	17.5%
サービス提供責任者	12	30.0%
その他	1	2.5%
合計	40	100.0%



アンケート回答者の経験年数

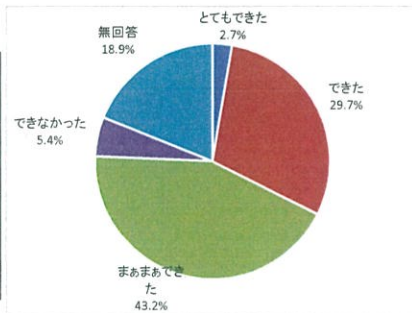
経験年数	人数	割合
1年未満	4	10.8%
1年～5年未満	5	13.5%
6年～10年未満	5	13.5%
11年～20年未満	22	59.5%
21年～30年未満	1	2.7%
31年以上	0	0.0%
合計	37	100.0%



※職種の複数回答により、回答数と相違あり。

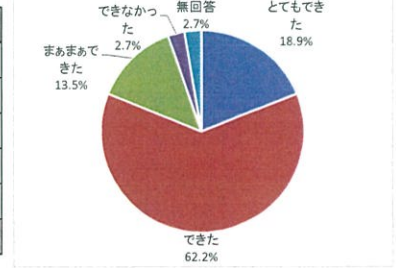
①ご自身の意見を遠慮なく発言することができましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	1	2.7%
できた	11	29.7%
まあまあできた	16	43.2%
できなかった	2	5.4%
無回答	7	18.9%
合計	37	100.0%



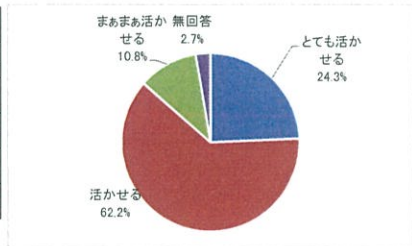
②『認知症のさまざまな症状について～医学的・心理的なケア・対応～』の内容を理解することができましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	7	18.9%
できた	23	62.2%
まあまあできた	5	13.5%
できなかった	1	2.7%
無回答	1	2.7%
合計	37	100.0%



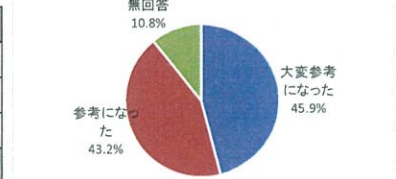
③明日からの業務に活かせますか。

選択肢	人数	割合
とても活かせる	9	24.3%
活かせる	23	62.2%
まあまあ活かせる	4	10.8%
無回答	1	2.7%
合計	37	100.0%



④演題:『認知症のさまざまな症状について～医学的・心理的な理解とケア・対応～』へのご意見・ご感想をお聞かせください。

選択肢	人数	割合
大変参考になった	17	45.9%
参考になった	16	43.2%
無回答	4	10.8%
合計	37	100.0%



⑤のご意見・ご感想等

- ・事前小質問が取り上げられていて、「減薬の検討...」など具体的な参考意見を頂けた。
- ・利用者様のエピソードの裏を考えると、利用者様の不安や悲しみなどが理解でき、寄り添えることができるんだと、とても勉強になりました。
- ・認知症の方への対応方法の色々な事例を他の事業者の方から聞けたら参考になると思います。
- ・城間先生の話をもっとお聞きしたかった。
- ・認知症と言っても、今まで見てきた方たちはやはり多種多様、対応に困る事も多いため、心理的な事や背景の重大さを知りました。そういう事も含め利用者として接していきます。
- ・“そこにいる事が大事”が印象的でした。
- ・グループワークをすることで、各自の考えがあり、これからも深めていこうと思いました。
- ・城間先生の講話はとても分かりやすく、ありがとうございました。これからは生かしていきます。
- ・その方の歴史、生活歴を知り、傾聴することがやはり大事。人間は皆、嫌なことをされたら嫌です。理解する事、その方の行動と周りの環境はリンクしているんだ！という事を学習しました。
- ・城間先生ありがとうございました。背景をいつも大切にしている事を思い出しました。
- ・認知症の〇〇さんではなく、一人の人として大切にしていきたいと思いたすことができました。
- ・特に「介護現場での困り事具体例」で、認知症の方の様々な症状に対して、どのように具体的に対応していったらよいか教えていただいたことが分かりやすく役に立ちました。今後、現場の中で生かしていきたいと思います。
- ・どの様な認知症で症状がいろいろあり、年を取ると脳の萎縮により別の症状がでてくる事などがあるのが分かり、それに当てはまる利用者様がいたので、大変参考になりました。

平成30年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業
医療職から介護職への研修会

平成30年度 通所介護・訪問介護ネットワークなは合同会員研修会アンケート集計結果

日時:平成30年10月25日(木) 14時00分～16時00分

場所:那覇市医師会・4階ホール

参加者:56名
回答者:37名
回収率:66%

- ・利用者様の気持ちに寄り添う事が大事だと理解していても、つつい業務(サービス)に追われてしまい話を聞いてあげることが出来ない時がある、気をつけていきたい。
- ・利用者の心理的なアプローチの仕方、介護職の支援中の間も何が言いたいのか?を考えながら促し声掛けが重要だと思いました。
- ・認知症等、話をしっかり聞き取り背景を理解する事が大事だと感じた。
- ・最近、高齢者の発達障害、子どもの発達障害の増加について学ぶことができました。
- ・認知症にあてはまるのかな?と思ったら、専門病院の受診を促す時、本人が病院へ行かないという拒否がある時にはどのような対応をしたらよいか?と考えます。教えていただけたら助かります。
- ・相手の心理症状を理解する事の大切さや気持ちを共感する事の大切さを明日から現場で活かしていきたい。
- ・医学的理解、心理的理解のもと、その人の心境、心情、過去のトラウマ等を知ることで、心に寄り添えるケアに繋がるようにしたい。
- ・一般的な問題行動に対し、“なぜ?”=理由がある事を意識し、理解し、接する様、大切な事を気づかされました。
- ・本人の背景もどんどん知り、対応出来るようになりたいです。勉強になりました。ありがとうございました。
- ・認知症について医学的な観点から考えることができ良かったです。本人様の病歴も考えながら今後の支援に繋げていけたらと思います。
- ・認知症のケアには、傾聴する事、共鳴する事がとても大事だと思った。どのケースでも傾聴することで改善に繋がる。生活支援だけではなく、とても大事なのは「話を聞く!!」と、とても思った。日々、バタバタと業務を行っている中で、一番大事な話を聞く!!職員間でも情報の共有をしていきたい。

⑥今後、どのようなプログラム(テーマ)があったら参加したいと思いますか。

- ・対応策について、もっと聞きたい。
- ・障害福祉(若い方など、中途障がいの方など)の事例を聞く機会。
- ・管理者としての役割、やらなきゃいけないこと!
- ・障害者・児への訪問もあるため、その方たちへのケアの仕方、注意しないといけない事など。
- ・利用者と介護職のいいコミュニケーション方法。
- ・事業所内で活かせる研修の方法。
- ・皮膚トラブルの予防～早期発見するために観察すべき点～医療的処置以外で介護の現場で対応できる事とは?
- ・生活リハビリで意識したほうが良い事とは?
- ・現場で起こるトラブルや状態の急変、(利用者家族、職員間等)人間関係についての対処法
- ・色々なケースを挙げ、対応例でどうなった等の事例報告等に参加したい。
- ・制度
- ・利用者との接遇について

⑦今回の合同会員研修会全体(手法や構成など)を通して、ご意見・ご感想等をお聞かせください。

- ・内容等は良かったが、場所(駐車場)は那覇社協だとありがたい。
- ・時間が短くて残念でした。
- ・心理学、脳、病気のことを勉強したい。
- ・グループワークの時間が少なかったという事もあり、どういった支援をしたらいいかというのが考える時間がほしかった。(時間が短いのですぐにはひらめきがあまりできなかった)
- ・他事業所の方との交流もでき、良かったです。
- ・研修2時間でのグループワークは短かった。せっかく城間先生なので、もっと講義を受けたかった。
- ・研修時間が短い。
- ・時間が短くてグループワークが十分に深められなかったように思いました。
- ・とても参考になりました。
- ・利用者に何をしてくださいではなくて、自然に寄り添うという話を先生に聞いて、明日から現場で行いたいと思いました。
- ・グループワークでは、たくさん意見が聞けて参考になりました。今後も専門分野の医師による講義を続けてほしいです。
- ・時間がもう少しゆとりがほしかったです。良い内容で、自分自身の振り返りに繋がった。